



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2014年(平成26年)5月25日号 No.1628

## 目次

■ <b>ロシアの最新の地域総生産</b> .....	1
— 自治管区の統計方式に変更点 —	
■ 『ロシアNIS調査月報』2014年6月号のご紹介 .....	12
■ <b>トピックス</b> .....	13
TOYO、トルクメニスタン向けガス化学プラント受注 / 13	
ロシア政府が地域行政効率性のランキングを発表 / 13	
2013年のロシア最良の発明100が発表される / 13	

## ロシアの最新の地域総生産 — 自治管区の統計方式に変更点 —

### はじめに

ロシア連邦国家統計局は先日、2012年の同国の地域総生産の統計を発表した。地域総生産は国内総生産(GDP)を地域別に(州などのレベル)ブレイクダウンしたもののだが、GDPよりも発表が遅いので、このほどようやく2012年の数字が発表されたというわけである。そこで今回の速報では、この最新データを表にまとめて紹介することにする。

本『速報』の2013年5月25日号(No.1595)等でお伝えしてきたとおり、住民1人当たりの地域総生産という指標で、2010年、2011年と、極東のサハリン州がトップに立った。しかし、今回発表された2012年の統計では、サハリン州が4位にまで後退している。これは、サハリン州の数字が落ち込んだというよりも、以下に述べるように、統計の方式の変更に伴って生じた変化である。

### 解説

以下の図表では、ロシアの地域総生産のデータが、現地通貨ルーブルで示されている。なお、参考までに、2012年の年平均レートは、1ドル=31.07ルーブル、1ルーブル=2.56円であった。

表1では、2012年のロシア各地域の地域総生産、住民1人当たりの地域総生産が示されている。地域総生産は基本的に、国内総生産(GDP)を地域別にブレイクダウンしたもののだが、特定の地域で行われない生産もあるので、すべてを合計してもGDPとは完全には一致しない。

実は今回発表の2012年分の統計から、ロシアの地域総生産統計には技術的な変更点があった。ロシアには、「自治管区」という州の下位に属す少数民族自治単位があり、現在3つ残っている(チュクチ自治管区は下位ではなく独自の構成体なので、ここでは数えない)。アルハンゲリリスク州の下に